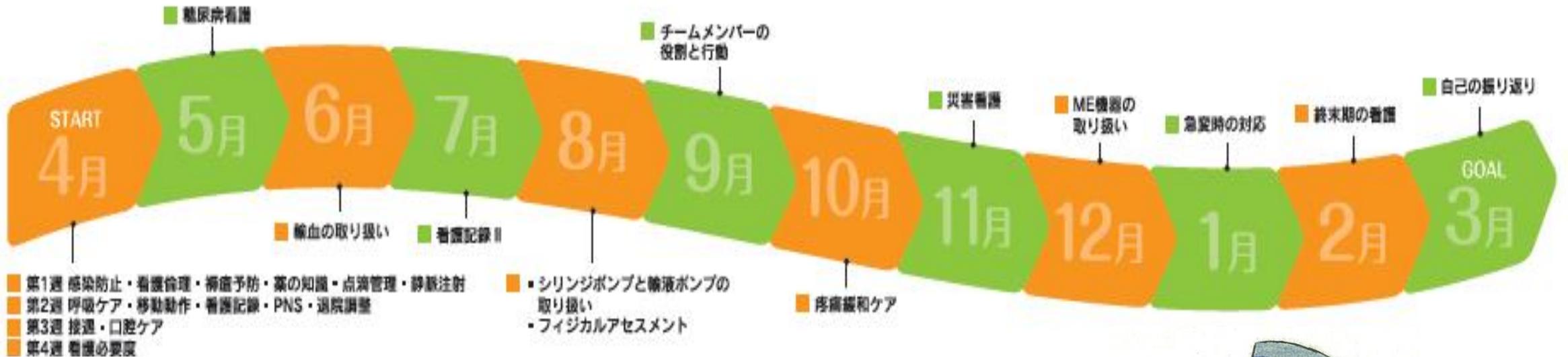


# 院内研修プログラム 例

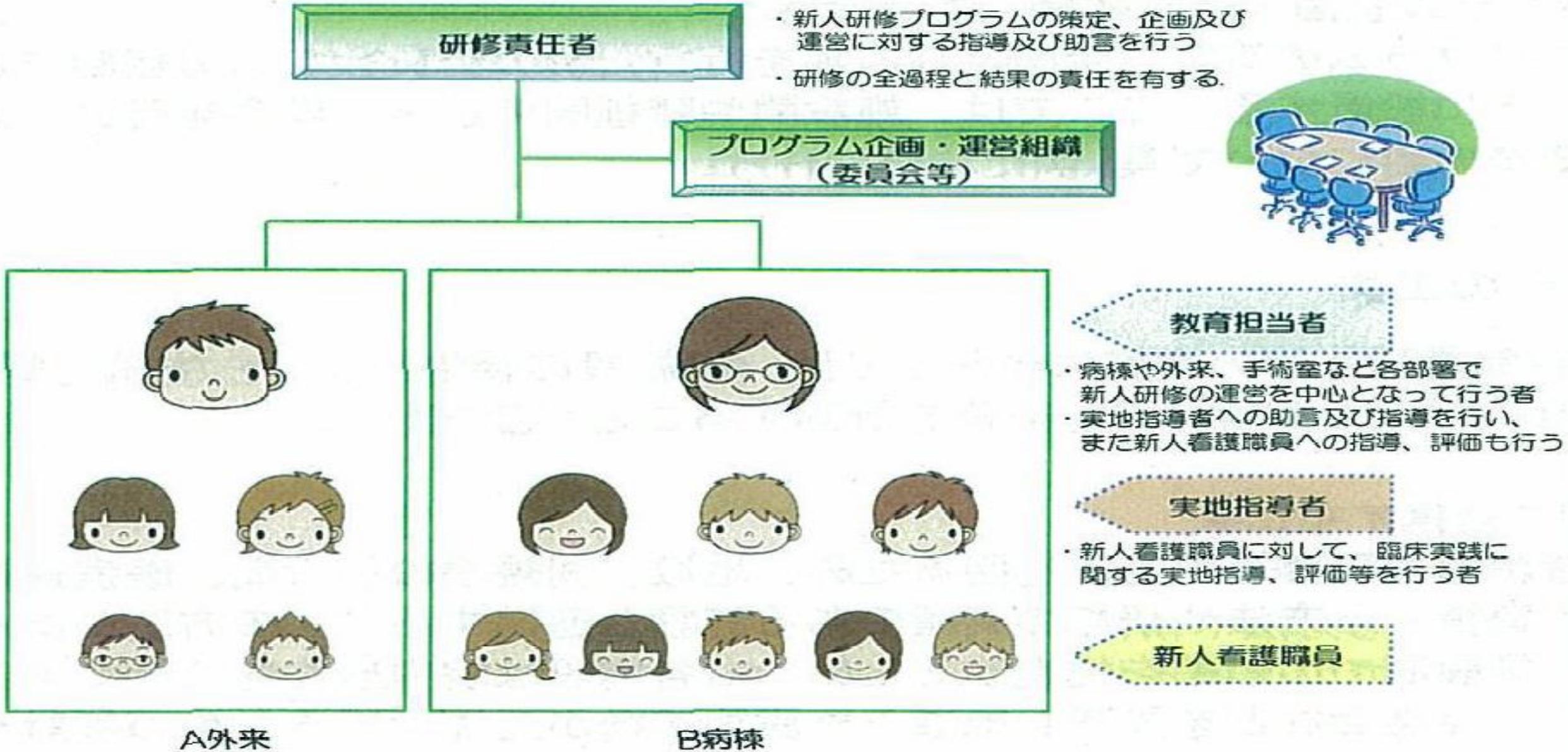
## 卒1年目研修 First year training



1年生は  マークをつけ、1年かけてしっかり研修します。



# 新人看護職員卒後臨床研修



# JCHOの看護師育成の魅力

## ◆ワークライフバランスの充実

(自己啓発休業、研究休職、子育て支援、介護休暇など)

## ◆研修・学習支援

必要な  
**サポート**が  
受けられる

**やりたい看護**が  
できる

**なりたい看護師**に  
なれる

## ◆継続教育の 多様なプログラム

- ✓ 本部・研修センター・地区での研修
- ✓ 院内教育(新人教育、院内研修)
- ✓ 院外教育(看護協会、学会等)

## ◆スペシャリスト育成推進

- ✓ 専門看護師、認定看護師、特定行為看護師など

## ◆認定看護管理者の育成

- ✓ JCHO本部でのファーストレベルからサードレベルまでの一貫した教育

## ◆医療チームと看護管理者による支援

### ◆多様な施設での医療提供に 関わることができる

(急性期、回復期、地域連携、  
老健、訪問看護、健診など)

### ◆全国どこでも働ける (スケールメリット)

# JCHO教育目的

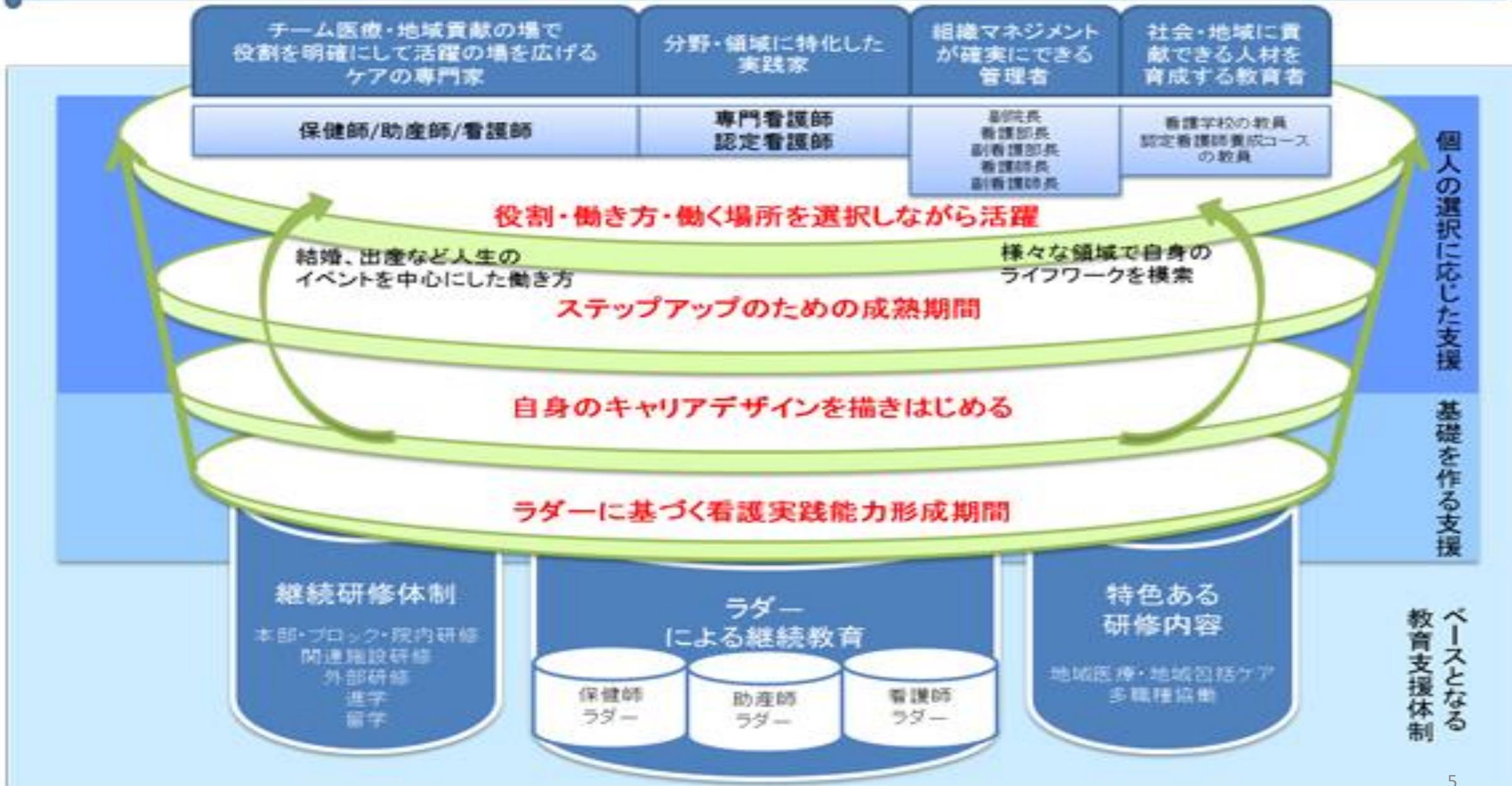
1. 地域医療で重視される疾病や医療・介護・福祉を繋げる視点を育てる  
継続的な学習、病院内だけでなく地域においても活用できる看護実践  
方法の習得を支援することにより、地域住民の多様なニーズに応える  
安全・安心な看護を提供できる人材を育成する
2. 専門職・医療チームの一員としての責任・使命感を持ち、興味を持つ  
分野・領域において、主体的に学習や組織改革に参画できる人材を育成する



# JCHO教育目標

1. 日常の看護（業務・実践）に役立つ学習活動に参加することができる
2. 問題解決能力・判断力を身につけ、個人や集団のニーズを理解して、患者とその家族・地域住民及び  
チームの問題解決のために具体的行動がとれる
3. チームの一員としての役割を認識して成果を出し、患者とその家族及び  
組織から信頼・信用を得ることができる

# JCHOの看護人材育成におけるキャリアデザイン イメージ



個人の選択に応じた支援  
基礎を作る支援

ベースとなる  
教育支援体制